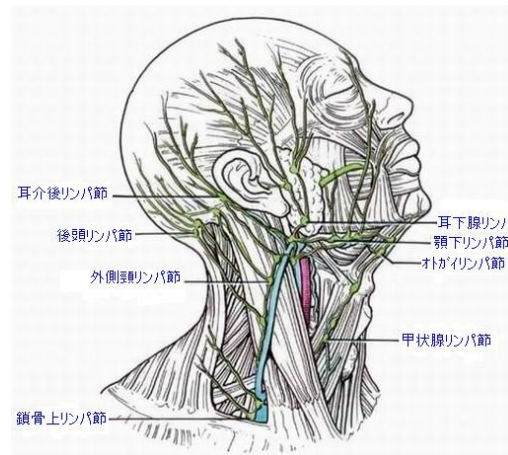


# 組織球性壊死性リンパ節炎について

[ \_\_\_\_\_ ]さま

## 【頸部リンパ節腫脹と発熱】

- 頸部の皮下に、触ると痛みをともなう球状のものが触れることがあります。これはリンパ節が腫れていることを示します。多くは、例えば扁桃腺炎・咽頭炎や虫歯など、頸部に細菌感染が起こりそれに対して体が免疫反応を起こしていることが原因です。
- まれに腫瘍によるリンパ節腫脹もありますが、この場合腫れは固く、熱はあまりでません。
- 一見感染によるリンパ節腫脹に見えるが別の病気のことがまれにあります。



## 【組織球性壊死性リンパ節炎とは】

- 組織球性壊死性リンパ節炎 Histiocytic necrotizing lymphadenitis とはリンパ節の腫脹・疼痛を伴う良性疾患です。原因については詳しくわかっていませんが、ある種のウイルスの感染がきっかけになり発症すると推測されています。

## 【症状】

- 40歳未満の比較的若年に発生する傾向にあり、比率としては女性が多いです。
- 症状は発熱と痛みを伴うリンパ節の腫れです。
- 感染と違い、白血球はむしろ減少することがあります(20-32%)、その他貧血や血小板減少、肝機能障害などを伴うこともあります。

## 【診断・治療】

- 鑑別すべき他の疾患として伝染性単核球症、全身性エリテマトーデス、結核性リンパ節炎、悪性リンパ腫などがあります。症状や採血、病状の経過だけでは診断がつきにくい場合リンパ節生検(皮膚を切開し、細胞を採取する)を必要とすることがあります。
- 壊死性リンパ節炎の多くは経過中の熱・痛みに対しては解熱鎮痛剤などを用いるだけで自然軽快することが多いです。症状は週～月単位でゆっくりと軽快します。ただ、症状が強く、なかなか改善しない場合にステロイドという内服薬を使用することもあります。

上記内容を説明しました。

平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 科